

「子どもと本をつなぐ地域交流会パート1」後の取組みと交流会「パート1」で出されたアイデア・事例

	集まる(例会・勉強会)	インターネットで情報交換・共有・発信	記録を残す	いっしょにイベントを行う	「掲示板(アナログ)」をつくる	地道に活動を続ける
交流会パート1で出されたアイデア・事例Ⅱ「宿題」	・ 例会での絵本の勉強会	・ ブログの開設	・ 会報を出す	・ 大きな発表会を行う(大おはなし会)	・ 掲示板をつくる	・ 活動は絵本がメインではないが、終わりに読み聞かせと手あそびをしている
	・ 読んだ本の中の好きな言葉を伝えてもらう。良かったと思う本を紹介してもらう場を作る	・ メーリングリストによる情報共有	・ おはなし会の記録ノート	・ 絵本の交換会・提供会	・ 活動している施設・団体の詳しい一覧を作成する	・ 0～1歳児を対象には大型絵本や紙芝居を使っている
	・ 例会で子どもたちにどんな本を読んだのか会員と情報交換をしたり、報告し合っている	・ フェイスブックによる情報発信、情報共有	・ 例会で子どもたちにどんな本を読んだのか会員と情報交換をしたり、報告し合っている ・ 学期ごとに、各学級で読んだ本を記録を会員に配信 ・ 学校の先生にも読み聞かせを勧めている	・ 「絵本まつり」などイベント化していく。また定期的に話し合いを持っていくことが必要	・ 人手を募集しているグループさんと参加したい人とが繋がるような掲示・用紙(配布物)などがあれば	・ 遊びの広場ではエプロンシアターしている。親子でペーパーサートを作って披露している(保育所在所児) (自分たちで作ることは親子の楽しみになる。親に読んでもらえるのはとっても新鮮で、読んだ親は自信になっている)
	・ 絵本原画展や講演会や本屋のイベント等にも参加しグループ内での情報交換する		・ 図書室の前に各クラスごとに読んだ本を記入するファイルを置いて、プログラムの重複を避ける			・ 例えば6年生が1年生に絵本を読んでやる機会をつくるなど、年齢の異なる子どもが集まる場所で子ども同士が本を通じて交わる機会をつくる
	・ 定例会で読んだ本を報告		・ 学期ごとに読んだ本リストを作成し配布する			
	・ 定期的な情報交換の場づくり		・ 学校図書館司書が図書時間に読んだ本の情報提供			
	・ 小グループで話す機会があれば、繋がりやすいのではないか		・ プログラムの記録をファイルし、おはなし会の選書の参考にする			
	・ 選書会を行い、おすすめの本や読み聞かせて読む候補の本の紹介		・ 絵本リストを年度末に配布			
	・ 図書館で新刊の紹介を兼ねて、おすすめの本を紹介し合うような会があれば良い		・ プログラムの記録をファイルし、おはなし会の選書の参考にする			
	・ 各グループでやっている選書会の拡大版		・ 学期ごとに読んだ本リストを作成し配布する			
・ 大学生のボランティアと一緒に活動する時に、久しぶりに参加した人も楽しかったと思えるような雰囲気作りを心がけている。メンバー同士の関係が近いとおはなし会のプログラムを決める時面白いアイデアや工夫を発言しやすく、読んでもらった子どもが「絵本って楽しい！」「もっと見てみたい(読んでみたい)」と思うことにつながると思う						
交流会パート2での「宿題」報告	おはなしボランティアポケット 月初めに図書館の集会室を借りてその月のおはなし会(放課後子どもクラブ)の選書、プログラム作りをしています。(落ち着いてお話を)聞けない子が多いので、どうやって聞いてもらうか、ワイワイガヤガヤやっています。	おかまちおやこでにほんご ブログやメーリングリストで情報発信や情報交換をしています。趣旨とは違ってしまうのですが、活動を地道に続けていく中でうれしいことがありました。 いつも外国人のママといっしょに参加していた子が、活動中にスマホのゲームなどに夢中で、絵本を読んでもあまり見てくれませんでした。それが最近、お母さんが絵本をたくさん借りてくれるようになり、それまでは家での絵本はキャラクターのものばかりだとおっしゃっていたのでとてもうれしかったです。その子が参加するようになって2年以上の地道な活動が役に立ったのだと思います。システムは便利ですが人の心を動かすのは地道な、人同士の関わりだなと思いました。	おはなしボランティアポケット 月初めに図書館の集会室を借りてその月のおはなし会(放課後子どもクラブ)の選書、プログラム作りをしています。(落ち着いてお話を)聞けない子が多いので、どうやって聞いてもらうか、ワイワイガヤガヤやっています。	千里図書館 千里近隣の小中学校と市内の高校の学校図書館を写真などで紹介した。 掲示物を冬休みから成人式まで展示し、学校図書館の様子を広く知ってもらう取組みを実施した。	岡町図書館 2013年1月から、岡町図書館のこども室・館外サービス室(現在耐震工事のため、こども室を館外サービス室に移転して開館中)に、「子どもと本をつなぐ掲示板」を設置した。 ボランティア、団体、図書館利用者が、活動の情報、意見、おすすめの本などを情報交換できる掲示板として運用中。柱周り2面を使って、1面は活動場所を求めるグループとおはなし会や絵本の読み聞かせをしてくれる人を求めるグループを結びつける掲示板、もう1面はおすすめの本の紹介など自由記入の掲示板として使っている。	おかまちおやこでにほんご ブログやメーリングリストで情報発信や情報交換をしています。趣旨とは違ってしまうのですが、活動を地道に続けていく中でうれしいことがありました。 いつも外国人のママといっしょに参加していた子が、活動中にスマホのゲームなどに夢中で、絵本を読んでもあまり見てくれませんでした。それが最近、お母さんが絵本をたくさん借りてくれるようになり、それまでは家での絵本はキャラクターのものばかりだとおっしゃっていたのでとてもうれしかったです。その子が参加するようになって2年以上の地道な活動が役に立ったのだと思います。システムは便利ですが人の心を動かすのは地道な、人同士の関わりだなと思いました。
	TEBK 学校図書館・市立図書館司書有志の絵本勉強会 2005年から学校図書館と公共図書館の司書有志が、お互いの情報交換もかねて月一回のペースで新刊絵本の勉強会を行っています。2010年から、この勉強会の記録を紙だけでなく、WEB上に公開することになりました。この年に日本図書館協会開催の研修に参加したメンバーの宿題に協力したことをきっかけにはじめた取り組みです。ここでの意見はひとつの見方であり、原則大勢の前での読み聞かせを想定したのになっています。ちなみに、TEBKのTはTは豊中(WEB上では明かしていません)、Eはえほん、BKは勉強会の頭文字を取って、名付けました。Twitterやブログにも連動しています。よかったら一度のぞいてみてください。	TEBK 学校図書館・市立図書館司書有志の絵本勉強会 2005年から学校図書館と公共図書館の司書有志が、お互いの情報交換もかねて月一回のペースで新刊絵本の勉強会を行っています。2010年から、この勉強会の記録を紙だけでなく、WEB上に公開することになりました。この年に日本図書館協会開催の研修に参加したメンバーの宿題に協力したことをきっかけにはじめた取り組みです。ここでの意見はひとつの見方であり、原則大勢の前での読み聞かせを想定したのになっています。ちなみに、TEBKのTはTは豊中(WEB上では明かしていません)、Eはえほん、BKは勉強会の頭文字を取って、名付けました。Twitterやブログにも連動しています。よかったら一度のぞいてみてください。	TEBK 学校図書館・市立図書館司書有志の絵本勉強会 2005年から学校図書館と公共図書館の司書有志が、お互いの情報交換もかねて月一回のペースで新刊絵本の勉強会を行っています。2010年から、この勉強会の記録を紙だけでなく、WEB上に公開することになりました。この年に日本図書館協会開催の研修に参加したメンバーの宿題に協力したことをきっかけにはじめた取り組みです。ここでの意見はひとつの見方であり、原則大勢の前での読み聞かせを想定したのになっています。ちなみに、TEBKのTはTは豊中(WEB上では明かしていません)、Eはえほん、BKは勉強会の頭文字を取って、名付けました。Twitterやブログにも連動しています。よかったら一度のぞいてみてください。			蛭池人權まちづくりセンター 本に関する取り組みとして実施頻度は多くはないが、就学前の子どもとその保護者対象に行っている子育て支援事業の中で絵本の読み聞かせをしたり、読み聞かせグループの方に来てもらって絵本から様々な気持ちを考えたり親子のふれあいの機会になるよう取り組みをしている。また小学生に向けては日ごとのプログラムの中で友達の間持ちや仲間づくりについてなどを考える際に絵本を活用したりしている。
		子ども読書活動推進連絡協議会事務局 図書館のホームページに「子どもと本をつなぐ活動に関わるグループ・団体・施設一覧」をあげました。 市内で子どもと本をつなぐ活動をされているグループや団体、活動に関係する部局、団体のうちご了解いただいたところを掲載しています。(平成24年度11月現在)				